



世界に希望を生み出そう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

◆点鐘：長澤 裕二 会長

◆ロータリーソング：

◆司会：武田 秀和 S.A.A.

◆会場：パレスグランデール



第3008回例会

令和6年3月8日(金)

山形西RC・高知南RC 合同例会

会長あいさつ

長澤 裕二 会長



皆さん、こんばんは。今日は高知南ロータリークラブの原田会長はじめ19名の会員の方と2名の奥様、総勢21名をお迎えしました。ようこそいらっしゃいました。

私は映画館をやっています、開館して40年になります。映画館を始める前に映画センターという教育映画の配給をやっていました。これは全国組織で、高知には四国ブンエイシャという会社があります。私が20代で入った頃に50代の後半くらいの大先輩の方にお会いしました。その人はいわゆる学校の映画教室などをやっていたのですが、黒いクラウンに乗っている人でした。なんだなんだと行くと、「映画教室をやらないか」というセールスなんです。映画なんていうのははっきり言って必要でないものを売りに行くんだから、どういふうに構えて迎えてもらえるかというのは大事だと。だから俺はこのクラウンに乗ってるんだというふうに言っていて、「へー、そんなことが大事なのか」と、私はあまりわからなかったですね。その頃は20代ですから、人生の大先輩にそういうふうに教えられたという思いがあります。

ある時、『マタギ』という映画を山形で上映しなくちゃならないとなった時に、猟友会の人たちが協力してくれるというので、あちこち県内をまわりました。「なんとかこの映画を上映してもらいたいんだ」と私が行くと、「山形県映画センターか。県から何をもらっている？」と聞くんですよ。山形県映画センターという名前からして何かしら県と関係があるのではないかと思われたんでしょうね。それで「いや、県からは何も出ない、出たのは推薦状だけです。紙1枚です」と。すると、「そうだろうな、じゃああとは俺らがやってやるから」ということで、協力してもらったことがあって。そういう意味でははったりも大事なんだというのはその時思いました。私はクラウンには乗っていませんけれど、でも本当に学校なんかの場合は効くんだということを教えられたのを非常に覚えています。

ありがとうございました。

ごあいさつ



原田 秀一 さん

〔高知南ロータリークラブ 会長〕

皆様こんにちは。本年度、高知南ロータリークラブ66代会長を仰せつかっております原田と申します。今回の訪問には、3つの目的があります。

1つは、コロナ禍により、2019年10月より4年間以上お休みしていました友好クラブの事業を再開をする事、2つは、国際ロータリー第2670地区2025-2026年度ガバナー輩出により、2025年10月25日に高知で地区大会を開催いたします。そちらに、ぜひご参加頂けないかというお願いにお伺いいたしました。織田英正会員が、ガバナーとなります。当クラブでは、28年ぶり3人目のガバナーです。最後1つは、3月11日で東日本大震災13年目になります。高知メンバー、やはり距離が遠いというのがありまして、現地に行ったことがないという方が多ございまして、今回、せんだい3.11メモリアル交流館のほうに行こうかなということでそれも1つの目的として今回来させていただいております。

2018年11月、当クラブ60周年の折には、28名の皆様にお越し頂き、楽しい交流でした。場所を変えてのふたクラブだけの歓迎会では、土佐のお座敷遊びで、盛り上がったことを記憶しています。

それから、コロナ禍になり、休会になったり、短縮になったりでしたが、医療従事者は来られなくなります。その中で、2022年9月のロータリーの友で、「老舗クラブの挑戦」という五十嵐副会長の「完全オンライン例会」の記事を見つけた時は、さすが山形西ロータリークラブだと思いました。

昨年の4月、高知を舞台にしたNHKの朝ドラで牧野富太郎博士の「らんまん」が放映されました。さらに2025年4月からの朝ドラには、高知出身の漫画家アンパンマンの作者のやなせたかしさんをモデルにした「あんぱん」に決定いたしました。2025年は、ぜひ、ロケ地巡りも兼ねて、高知へお越しください。

本年のスローガンは「ロータリーをもっと知ろう そして、楽しもう!」です。長澤会長の「新会員を育てながらロータリーを楽しもう」を少しまねさせて頂きました。今宵は、大いに楽しもうと思っています。よろしくお伺いいたします。

矢野 公士 さん

[高知南ロータリークラブ 副会長]

皆さんこんばんは。私の伯父がこの山形の地で長年に渡り公証人をさせていただいておりました矢野光邦と申します。山形西ロータリークラブでは長年お世話になりました。矢野光邦はこの公証人の任務を終えて東京で弁護士をしておりましたけれども、一昨年8月に87歳で他界しました。皆さまには本当にご報告ができていなかったと思います。コロナ禍で本当に申し訳ございませんでした。

今回、山形西ロータリークラブに参るということを聞きまして、2つ返事で、私は参らないといけな思ひまして、皆さまにご報告をしないとイケないと思ひまして、ここに参っております。今後、姉妹クラブの高知南ロータリークラブには甥っ子がいますので、またかわいがっていただけましたら幸いでございます。また今後ともよろしく願ひいたします。

今日は原田会長をはじめ、21名の高知南ロータリークラブの皆さま方、ようこそ山形の地においでいただきました。心から歓迎申し上げます。

1957年、その年に山形西ロータリークラブが誕生いたしました。そして次の年、高知南ロータリークラブが誕生したとお聞きしております。それから18年経って、1976年に我々と高知南ロータリークラブは友好クラブを結ばせていただきました。今年まで48年間、友好クラブの絆を深めてまいりました。

改めて今日この西ロータリークラブ全員が高知の皆さんを歓迎する、おもてなしをする会と思っております。48年というと半世紀、本当に素晴らしい期間、このことをやってもらえたんだと改めて感謝申し上げたいと思ひます。

この会が素晴らしい時間となりますことを、そしてまたこれからも永遠に高知南ロータリークラブさんと我が山形西ロータリークラブが友好関係を築けるようお願いして、そしてまたご列席の皆さま方のご健勝、ご健康を併せてご祈念申し上げて、杯を上げたいと思ひます。乾杯。



本日出席 (3 / 8)	会員総数	出席会員数
	102名	山形西RC 40名 / 高知南RC 21名